

## 2月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園  
神戸YMCAちとせ幼稚園

幼稚園では3学期を迎えて、お正月ならではの新しいコーナー遊びが展開されています。園庭では、「独楽（コマ）回し」、「竹馬」、「羽根つき」で遊ぶことができたり、お部屋でも蛇（へび）年にちなんで、へびの形をしたクルクル回る「へびたこ」や「ブンブンコマ」を作ることができたり、「けん玉」、「おてだま」、「福笑い」、「ぼうずめくり」など昔から伝わる伝統的な遊びを楽しむこともできます。夢中になって遊んでいる子どもたちは楽しそうながらも真剣そのものです。

このような昔から受け継がれてきた遊びは、幼児期の子どもたちにとってはちょっと難しいものでもあります。独楽（コマ）回しは、ひもをきちんとコマに巻き付けるところから始まります。巻き付けが緩いとももちろんきれいには回らず、けん玉も玉を真上に持ち上げ、バランスよくお皿の上に乗せるのは、最初から簡単にはできません。竹馬も足の力で歩くのではなく、腕の力で乗せている足をコントロールしないと進めません。何度も何度も根気強く、繰り返しながら、失敗しながら、ちょっとずつ上達していく過程が大切です。

このようにお正月の伝承遊びが今もなお、語り継がれ遊びに取り入れられているのも大きな意味があると思っています。それは私たちが生活している日常が、昔と比べてより便利により楽に、そしてより豊かに変化していることにあるからです。

例えば、今の車においては、ほぼスライドドアが用いられており、後部座席に乗っている子どもたちは何もせずとも扉は開くようになりました。水道も昔は、蛇口を握ってひねらないと水が出なかったものが、今はひねらなくても手のひらで上げたり下げたりするレバーになったり、手をかざせば勝手に出てくるものも増えました。水筒もボタン1つで扱うことができ、トイレも便座がセンサーで勝手に開く時代です。社会が豊かになればなるほど、手先を使う機会は逆にどんどん減少していくことを忘れてはいけません。手先が不器用な子どもが増えていると耳にするのも、決して子どもたちが悪いわけでもなく、社会がそのような状況を作り出しているのです。

今、子どもたちが夢中になっているお正月の伝承遊びは、まさに手先を存分に使った遊びです。このような経験をたくさんしていくことが大切です。ぜひ、ご家庭でも懐かしさを感じながら楽しんでみてください。やってみると本当に難しいものですよ。

### 【年主題】

「さあ、漕ぎだそう 奏でよう」

### 【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」

（ヨハネによる福音書 14章6節）

### 2月主題 「なかまと 心あわせて」

聖句 「わたしは弱いときにこそ強いからです。」

（コリント信徒への手紙Ⅱ 12章10節）